

朝読書 10分間の集中

人の脳は、朝起きてから夜寝るまでの間に毎日たくさんの情報がインプットされます。そして、その情報をもとに、悩んだり、考えたり、などを繰り返しています。夜の睡眠中は、脳の中で、昼間にインプットされた情報が散らかっている状態から、整理をしている時間帯です。そして翌朝になると、頭の中が整理されて、今日の情報をインプットしていけるようにスペースができています。この状態で読書をすることで、読書内容を理解しやすいと感じたり、強い意識を持たずとも集中できたり、その結果、脳の回転数が上がり、程よいモチベーションで授業に取り組めるようになるのです。

読書の効果 その1…【伝える力】

(1) 福岡大学主催、高校生川柳の優秀作品から(2023年度)

- 【 AIで 考え直す 人の価値 】
- 【 面接で 未来の扉を ノックする 】
- 【 グラウンド 戻る活気に 土が舞う 】
- 【 何気なく 書き込む言葉 凶器かも 】
- 【 SNS 大事な時間 奪っていく 】
- 【 世の中の 情報洪水 泥混じり 】
- 【 宿題の 「提出」ボタン 押し忘れ 】
- 【 君と見た 下校途中の あの夕日 】



読書の効果 その2…【思考・判断・表現力】

多くの活字・漢字に触れることで、論理的な思考力や集中力など、これから生きていくために必要な力も身につけられます。



読書の効果 その3…【先を見通す力】

新聞を読むことで、今世の中で何が起きているのか、これから何が必要とされるのかを知ることで準備ができる。



外国為替相場

東京証券取引所

新NISA



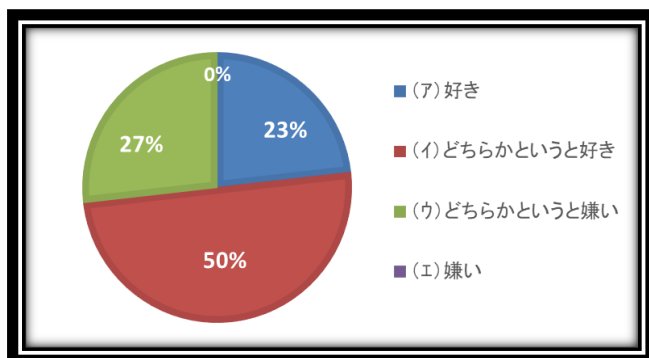
令和6年度新入生図書館アンケート

【実施日】 4月12日（新入生図書館オリエンテーション）

【回答者数】 112人／114人中

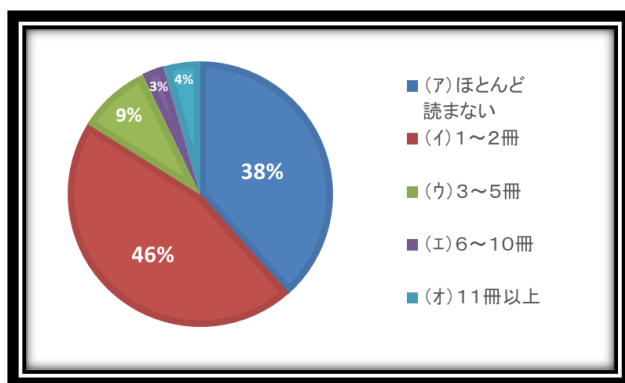
(1) 読書は好きですか。

(ア) 好き	(イ) どちらか という人喜欢	(ウ) どちらか という人嫌い	(エ) 嫌い
26	56	30	0



(2) 1ヶ月に平均何冊くらい本を読みますか。

(ア) ほとんど読まない	(イ) 1～2冊	(ウ) 3～5冊	(エ) 6～10冊	(オ) 11冊以上
43	51	10	3	5



図書館を利用しないのは、もったいない！

図書館には、本や雑誌や新聞が沢山あります。それに加えて探究学習や授業のサポートをしてくれる司書さんがいます。本を借りる時だけでなく、悩んだり・迷ったりした時にはコレ！といった本をアドバイスしてくれることもあつたりします。

ネットで検索するよりも、早く調べて教えてくれたりもします。

図書館に来て【司書さん】に話しかけてみてください。



文責：図書研修部長